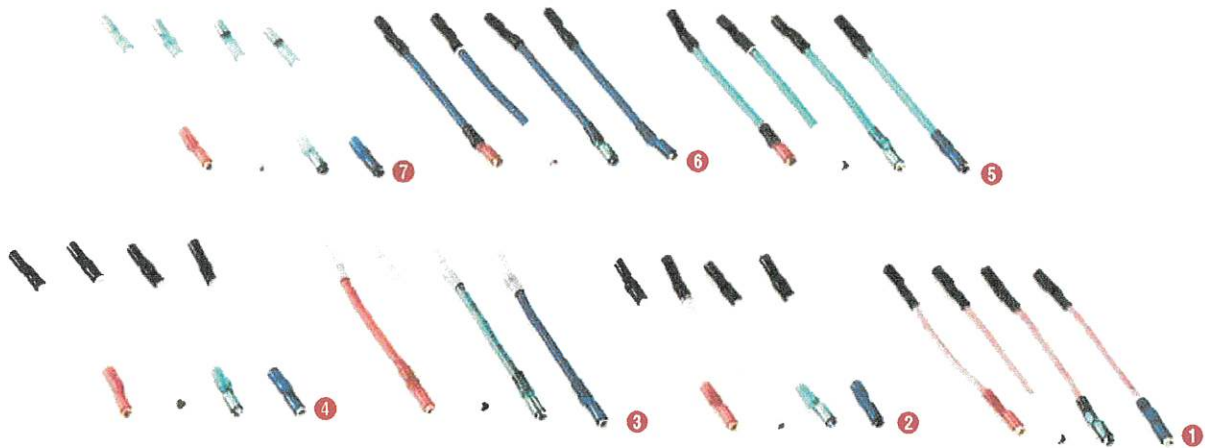


手作りシェルリード専門工房 KS-Remastaの注目作

この内容でこの価格に驚かされる
超ハイCPリードワイヤーの魅力Text by
炭山アキラ
Akira Sumiyama
Photo by 田代法生

KS-Remasta



①KS-VWS3024D ¥4,400(税込)

●導体:1940~60年代 WE社製awg24(直径約0.5mm)単線●絶縁体:ブラックエナメル、絹巻き●ハンダ:1940~50年代 ダッチボーイ社製(※被覆の色柄は随時変更あり。また製作時、剥離剤の浸透によりシミの出る事もあり)

②KS-LW4000MR ¥4,400(税込)

●導体:国産 異種OFCハイブリッド、断面積約0.36mm²●ハンダ:国産 鉛入りハンダ

③KS-LW4500LTD ¥5,500(税込)

●導体:国産 アニールOFC(純度5N相当)、断面積約0.36mm²●ハンダ:国産 KOサウンドラボ社製 ゴールドニッケス101

④KS-LW8100STD<新製品> ¥6,600(税込)

●導体:海外製 8N-OFCクワイオ処理、断面積約0.36mm²●ハンダ:KS-Remasta オリジナル STDグレード

⑤KS-LW-1800STD<新製品> ¥6,600(税込)

●導体:海外製高純度OFC、直径0.6mmシングルコア●ハンダ:KS-Remasta オリジナル STDグレード

⑥KS-LW-1500STD<新製品> ¥6,600(税込)

●導体:PC-Triple C、直径0.6mmシングルコア●ハンダ:KS-Remasta オリジナル STDグレード

⑦HST-KS-LW-9500EVO.II (EXC)<新製品>

¥22,000(税込)※数量限定50組ファイルウェブ・ショップでの販売
●導体:PC-Triple C/EX(中心部:PC-Triple C 外側:5N純銀)、直径0.3mm×7本●断面積:約0.49mm²●ハンダ:KS-Remasta EVO.II
●最新の深冷処理技術 Hyper Sub-zero Treatment(ハイパーサブゼロトリートメント)処理

<7モデル共通> ●全長:約43mm●シェルチップ:全メッキリン青銅●カートリッジ側1.2mm、シェル側1.0mmテーパ加工(シェル側1.2mmも同一価格で製作可能)

※①④⑤⑥は、DL-102などのY字2又モノラル仕様も同一価格で製作可能

<主な組み合わせ機材> ●カートリッジ:DENON DL-103●シェル:オーディオテクニカ LT-13a●フォノケーブル:KSリマスタ S-PHONO-001/STD●RCAインターコネクトケーブル:KSリマスタ KS-RCA-001/STD●プレーヤー:バイオニア PL-70●フォノEQ:アキュフェーズ プリアンプC-2300のオプションEQボード、AD-60

KSリマスタのシェルリードというと珠玉のような数十万円という価格と考えるが、実は同

価格は手頃でも効果は絶大
シェルリード交換は魅力だ

社製品は数千円から存在し、それらも決して侮ることができない。今回は4~6000円台の製品を中心に聴いてみた。

手始めはヴェンテージ線の①KS-VWS3024D。ハン

ダも半世紀以上前のものだ。シエルの付属リードから取り替えた時の差は、まるで別次元というべきだろう。音場は照明をやや落とした感じに深く広がり、音像はアタック鋭く決まる。声に独特のコクが出るのも好ましい。解像度は高く、複雑な音場の重なりを見事に分解する。

次は国産OFC異種ハイブリッドの撚り線と国産の鉛ハンダを用いた②KS-LW-4000MR。アタックが太く豪快で、声は伸びやかさを加える一方、音場は①より若干狭まるというか前へガンガン張り出すタイプだ。もともと、エージングで奥へも伸びる可能性はある。

お次はアニール加工済み国産5N-OFCとハンダは銘品ゴールドニッケスの③KS-LW4500LTDだ。輪郭線が細く、しかしパワフルな方向で、音場は奥行き方向へも深く伸びる。ハイスピードでやや明るめのサウンドだ。②との情報量の差は価格以上のものがある。

続いてはクワイオ済み輸入8N銅線とKSリマスタ特製STDブレンドハンダの④LW8100STD。一聴して音量感が上がリ、音場はどこまでも広大という訳ではないものの、そこへ提示される音像の佇まいが格好良い。全体に格調高く、しつとりとした肌触りも魅力だ。

ここからは単線、海外製OFCの⑤KS-LW-1800STDハンダの⑥KS-LW-1500STD。音場が奥へ一気に広がり、アタックのピントがピシリと揃う。しかし鋭すぎず、ある種中庸を行く感じもある。

ラストはPC-Triple Cの⑦HST-KS-LW-9500EVO.II(EXC)。音場は左右方向へ広大に広がり、声はコクたっぷりに響く。高域方向はサラリと軽快かつ伸びやかだ。歪み感の少なさも驚異的な、優れたリードワイヤーである。